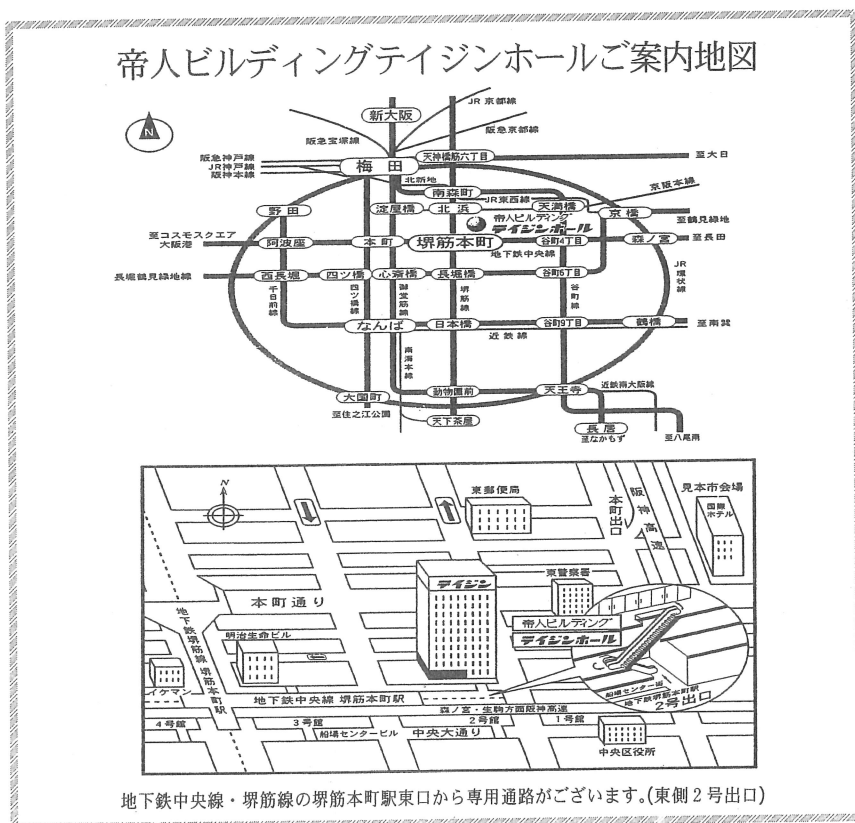


# 第 27 回 近畿川崎病研究会

日 時：平成 15 年 3 月 1 日（土）  
13:00～19:00

会 場：テイジンホール  
大阪府中央区南本町 1 丁目 6 番 7 号  
TEL 06-6268-3131～3132



共 催 近畿川崎病研究会  
帝 人 株 式 会 社

# 一近畿川崎病研究会一

## 第 27 回近畿川崎病研究会会長

篠原 徹

## 運営委員長

横山 達郎

## 運営委員

上村 茂	越後 茂之	荻野廣太郎	奥野 昌彦
尾内善四郎	片山 博視	北村惣一郎	清沢 伸幸
米田 正始	桜井 隆	佐野 哲也	篠原 徹
清水 達雄	杉本 久和	鈴木 淳子	瀬戸 嗣郎
津田 悦子	鄭 輝男	寺口 正之	土井 拓
富田 安彦	中川 雅生	中嶋 徹	西岡 研哉
服部 益治	馬場 國藏	濱岡 建城	福田 和由
藤原 久義	古庄 卷史	榎野征一郎	松下 享
松田 暉	松村 正彦	三谷 義英	村上 洋介
横山 達郎	横山 直樹	吉林 宗夫	

## 顧問

神谷 哲郎	川崎 富作	川島 康生	田村 時緒
濱島 義博	森 忠三		

## 事務局

〒541-0045 大阪市中央区道修町 2-2-6 後藤ビル 6 階  
(株) 協和企画 大阪支社内  
TEL 06-6231-6770

# ー参加者へのお知らせとお願いー

## 1. 参加者へのお願い

- (1) 研究会開始時間は午後1時です。
- (2) 研究会参加費は1,000円です。なお、本会に未入会の方は入会の程お願いいたします（年会費は3,000円です）。
- (3) 本研究会は、日本小児科学会認定医研修単位として3単位となっております。

## 2. 演題発表者へのお願い

- (1) 本研究会ではディスカッションを十分に行いたいと思います。  
口演時間は一般演題5分でお願いいたします。
- (2) スライドは原則として一般演題10枚以内でお願いいたします。  
また、35m/m版用、1面のみの使用とします。
- (3) スライドは会場入場の際「スライド受付」にご提出下さい。
- (4) パソコンでの発表はご遠慮願います。

## 3. 口演者へのお願い

口演内容は、Progress in Medicine 7月号（ライフ・サイエンス）に掲載される予定ですので、次の要領でまとめて下さい。

執筆要項：図表は別として、400字詰原稿用紙にて12枚以内にまとめて下さい。

また、200字以内の英文抄録を付して下さい。

原稿〆切：平成15年4月30日

（後日、ライフ・サイエンスよりあらためてご連絡いたします。）

問合せ先：(株) ライフ・サイエンス 日村昭仁

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-67 コスモス青山

TEL 03-3407-8963

セッション1 13:00~13:45

座長：福田 和由（奈良県立医科大学）

1. 多彩な肝胆道系の病変をきたした川崎病の1症例

関西医科大学 小児科

藤井喜充 岡本真由実 寺口正之 小林陽之助

2. 麻痺性イレウスを合併した川崎病の1例

済生会奈良病院 小児科

坂東由香 山本和邦

近畿大学医学部奈良病院 小児科

前川貴伸 林 環 吉田幸一 内田優美子 箕輪秀樹

三崎泰志 吉林宗夫

3. 川崎病発症より1か月後に再発した1女児例

野洲病院 小児科

上田達哉 井上久子

滋賀医科大学 小児科

渡邊格子 神谷 博 藤野英俊

中川雅生（現 国立医薬品食品衛生研究所医薬品医療機器審査センター）

湖南メディカルセンター 三愛小児科

宇野正章

4.  $\gamma$ グロブリン、およびアスピリン治療により顔面腫脹と全身紅斑をきたした1例

箕面市立病院 小児科

清原由起 岩城 大 北岡太一 藤井史敏

藤川泰弘 下辻常介 山本威久

箕面市立病院 皮膚科

山本志織 松本千穂

5. 発熱と頸部リンパ節腫脹の2症状のみで第6病日に $\gamma$ グロブリン一括大量投与を受けた2歳の川崎病既往男児—およびその他の診断に苦慮した症例

神戸市立中央市民病院 小児科

神田健志 富田安彦 山川 勝 芳本 潤

小林健一郎 久保田 優

セッション2 13:45~14:21

座長：土井 拓（京都大学）

6. 冠動脈瘤を認めた不明熱の男児の1例

市立吹田市民病院 小児科

中長摩利子 中元保子 藤井靖子 小野寺 隆

松崎香士 松本義男

国立循環器病センター 小児科

津田悦子

7. 急性期 CRP 低値で経過し、冠動脈瘤を形成した川崎病男児例

和歌山県立医科大学 小児科  
南 孝臣 武内 崇 鈴木啓之 上村 茂 吉川徳茂  
社会保険紀南総合病院 小児科  
渋田昌一

8. 川崎病発症 5 年後の CAG で狭窄性病変を認めた小冠動脈瘤の 1 例

大津赤十字病院 小児科  
水戸守寿洋 西岡研哉

9. 突然死した川崎病冠動脈障害による虚血性心筋症の 1 例

国立循環器病センター 小児科  
津田悦子 小野安生 黒崎健一 大内秀雄 越後茂之  
国立循環器病センター 心臓血管外科  
八木原俊克 北村惣一郎

セッション 3 14:21~14:57

座長：奥野 昌彦（長浜赤十字病院）

10. 当院における 4 か月以下の川崎病患児の臨床的検討

市立豊中病院 小児科  
川上展弘 黒飛俊二 小柳津裕子 村上真理 前川 周  
最上友紀子 本田敦子 松岡太郎 原 達幸 清水一男

11. 近畿地区における不全型症例について

近畿川崎病アンケート調査小委員会  
清沢伸幸 西岡研哉 上村 茂 荻野廣太郎 藪部友良

12. 川崎病におけるプロテイン C 活性値による検討

済生会京都府病院 小児科  
松尾憲典 法澤早紀 吉田麻希 生嶋 聡

13. 免疫グロブリンは Fc 部分を介して実験的動脈炎・硬化病変を改善する

京都大学 循環病態学  
二又正臣 岸本千晴 袁 祖貽 塩路圭介 北 徹  
京都大学 加齢医学  
佐野秀人 許 揚 横出正之

セッション 4 14:57~15:36

座長：寺口 正之（関西医科大学）

14. 微小冠動脈に対する新しい血行再建法 "Bio-CABG" の実験的検討

京都大学 心臓血管外科  
池田 義 植山浩二 高 兵 洞井和彦 西村和修 米田正始  
京都大学再生医科学研究所  
田畑泰彦

15. MR Coronary Angiography における川崎病の局所性狭窄とセグメント狭窄（再疎通血管）の描出

東京通信病院 小児科  
稲葉利佳子 鈴木淳子 小野正恵 保科 清  
東京通信病院 放射線科  
武村 濃 是永建雄

16. 新たな冠動脈瘤を形成した2例の経過 —MRCAの有用性について

日赤医療センター 小児科  
安川久美 山本和歌子 土屋恵司 今田義夫  
麻生誠二郎 藺部友良  
東京通信病院 小児科  
鈴木淳子

17. 川崎病冠動脈障害に対する非造影3D MR Coronary Angiographyの有用性—呼吸同期併用法と呼吸停止下法との比較

東京通信病院 放射線科  
武村 濃 大室正巳 飯島衣里子 島田菜穂子  
鈴木丈夫 是永建雄  
東京通信病院 小児科  
鈴木淳子 稲葉利佳子  
フィリップスメディカルシステムズ株式会社  
小原 真

セッション5 15:36~16:03

座長：佐野 哲也（大阪厚生年金病院）

18. クリニカルパスのバリエーション解析を通して見た当科の川崎病治療成績

神鋼加古川病院 小児科  
吉田 茂 田伏里奈 藤岡祥子 三舛信一郎

19. 治療開始前・開始早期のデータでは何がγグロブリン不応例の検出に役立つか

昭和大学横浜市北部病院 小児科  
野中善治 曾我恭司 藤原大輔

20. 急性期川崎病に対する我々の選択的ウリナスタチン・免疫グロブリン併用療法9年間の治療成績と新たなる提案

岐阜県立多治見病院 小児科  
中野正大 横井暁子 上條義則 荒川 武 小久保義一  
木村勝則 岩城利充

16:03~16:20

【コーヒーブレイク】

16:20~16:25

【事務局報告】

指定発言 16:25～16:40

座長：篠原 徹（近畿大学）

「川崎病遠隔期管理に関する新たな動き」

- 1) 川崎病管理基準の改定  
西神戸医療センター 小児科 馬場 國藏
- 2) 川崎病カードの導入  
関西医科大学洛西ニュータウン病院 小児科 荻野廣太郎

シンポジウム 1 16:40～17:40

座長：松村 正彦（天理よろず相談所病院）  
瀬戸 嗣郎（市立岸和田市民病院）

【各医療機関は後遺症のない川崎病既往児をどのように追跡しているか】

- 1) こども病院で 兵庫県立こども病院 小児科 鄭 輝男
- 2) 大学病院では 大阪医科大学 小児科 片山 博視
- 3) 公立病院では 市立貝塚病院 小児科 井碩 孝博
- 4) 私立（民間）病院では 近畿大学 小児科 篠原 徹
- 5) アンケート調査報告 近畿大学 小児科 福田 毅

シンポジウム 2 17:40～19:00

座長：上村 茂（和歌山県立医科大学）  
濱岡 建城（京都府立医科大学）

【後遺症のない既往児の追跡を終了することに問題はないか】

- 1) 後遺症のない川崎病冠動脈の免疫組織化学的所見  
東京通信病院 小児科 鈴木 淳子
- 2) 川崎病遠隔期の血管機能障害 京都府立医科大学 小児科 坂田 耕一
- 3) 川崎病遠隔期（5年以上）患児で「炎症反応」は陰性化しているか？  
一血中炎症性マーカー：新しい動脈硬化危険因子の検討  
三重大学 小児科 三谷 義英
- 4) 後遺症のない川崎病既往児のフォローアップ状況  
日本大学 小児科 鮎沢 衛

Kenketsu Venilon®-I

Immunoglobulin Shield



指定医薬品

血漿分画製剤

献血由来 静注用免疫グロブリン製剤



**献血ベニロン-I**

〈乾燥スルホ化人免疫グロブリン〉  
生物学的製剤基準

薬価基準収載

■「効能・効果」「用法・用量」「禁忌・原則禁忌を含む使用上の注意」等は製品添付文書をご参照ください。

本剤は、献血による貴重な血液を原料として製剤化されたものです。問診、感染症関連の検査等の安全対策を講じていますが、血液を原料としていること由来する感染症の伝播等の危険性を完全に排除することはできないことから、疾病の治療上の必要性を十分に検討の上、必要最小限の使用にとどめるようお願いいたします。（「使用上の注意」の項参照）●詳細については製品添付文書をご参照下さい。

総発売元・販売



帝人株式会社

東京都中央区千代田区千代田1-1-1  
資料請求先：帝人(株)医薬事業本部学術情報部

製造元・販売



化血研

〒100-8585 東京都千代田区千代田1-1-1  
資料請求先：(財)化学及血清療法研究所管理課

VEN902(MI)0206 作成年月2002年6月



気道潤滑去痰剤  
徐放性気道潤滑去痰剤

指定医薬品 薬価基準収載

**ムコソルバン**

Mucosolvan® 〈塩酸アンブロキシオール〉

錠・液・Lカプセル

シロップ・ドライシロップ

●効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等については、製品添付文書をご参照ください。

販売

**TEIJIN** 帝人株式会社

医薬事業本部 〒100-8585 東京都千代田区千代田2-1-1  
資料請求先：帝人(株) 医薬事業本部学術情報部



Boehringer  
Ingelheim

提携

ベリンガインゲルハイムインターナショナル社  
インゲルハイムアムライン(ドイツ)

MUC708(MD)0111  
2001年11月作成